令和４年度　７月朝会　　2022/6/29

# 校　長　の　話

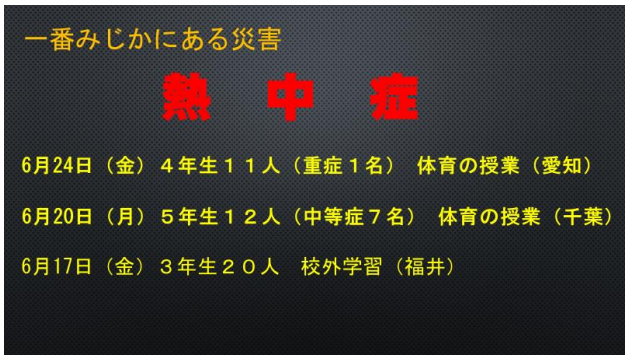
校長　上村　哲也

## 熱中症から身を守ろう（マスクを外す時を考えて）

気象庁の発表によると、６月２７日に関東地方が梅雨明けしたとのことです。いつもの年と比べると２２日も早い梅雨明けで、梅雨の期間が２１日間、「これまでで一番短い梅雨で、一番早い梅雨明け」だそうです。歴史的な梅雨だったということですね。

その一方で、６月下旬（６月２０日～３０日まで）は、これまた記録的な暑さとなっています。「６月下旬としては過去１００年で最も高い平均気温」だということです。

（NHK ニュース）




そうなると心配されるのが熱中症です。熱中症は、熱が身体の中にたまって起きる病気です。ひどい頭痛がしたり気を失ったりすることがあり、毎年、多くの人が病院に運ばれ、亡くなる人もいます。もはや“災害”と言えます。

最近のニュースを幾つか紹介すると・・・

○６月１７日（金）　３年生２０人　校外学習（福井）
○６月２０日（月）　５年生１２人（中等症７名）　体育の授業（千葉）
○６月２４日（金）　４年生１１人（重症１名）　体育の授業（愛知）

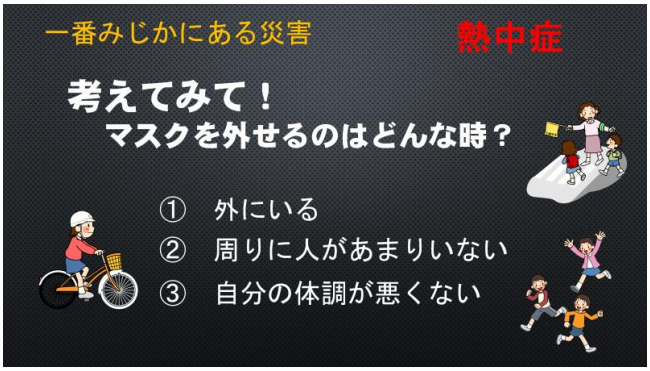
また、６月中旬に熱中症で救急搬送された人の数（全国最新データ）は・・・

○６月１３日（月）　７６人（中等症３０人）
○６月１４日（火）　２３人（中等症６人）
○６月１５日（水）　４４人（中等症１９人）
○６月１６日（木）　１３８人（重症３人　中等症４６人）
○６月１７日（金）　３０７人（重症４人　中等症２０１人）
○６月１８日（土）　２８３人（重症５人　中等症８６人）
○６月１９日（日）　４６６人（重症７人　中等症１２５人）

これから夏本番を迎えます。どれくらいの人が熱中症になってしまうのかとても心配される状況です。特に、子どもは注意が必要です。子どもは背が低くて、熱い地面に近い所にいるため、大人より３℃以上暑く感じると言われて

います。暑い日に外に出る時は、涼しくて汗を吸いやすい服を着るようにしましょう。帽子を被ると、涼しくなります。そして、のどが渇いていなくても十分に水分をとりましょう。

気がかりなのは新型コロナウイルスです。新型コロナウイルスの対策が続く中で、マスクの着用による熱中症のリスクが高まっています。距離を十分に取れる場所ではマスクを外すなどの対策が必要です。では、どんな場面でマスクを外せば良いのでしょうか。




６月９日（木）の朝日小学生新聞に次のような記事が載っていました。見出しは「考えてみて　マスク外せるのはどんな時？」です。テレビでよくお見かけする和田耕司さん（国際医療福祉大学教授）によると、マスクを外せるか考えるポイントは３つあるそうです。

①外にいる
②周りに人があまりいない
③自分の体調が悪くない

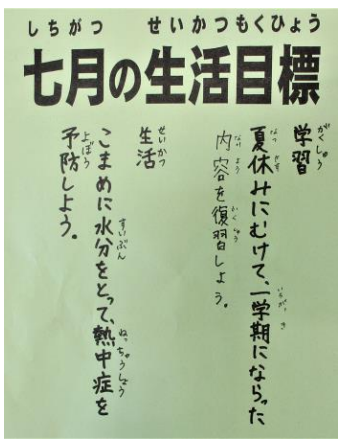
そして、「周りに人がいない登下校中や、屋外で遊ぶ時は外していいけれど、せきが出たり喉が痛かったりと体調が悪い時や、人が集まる時、会話がある時は引き続きつけてほしい。」と話されています。

それから、これは、環境省と厚生労働省によるリーフレットです。「運動時には、忘れずにマスクを外すこと」「屋外での散歩やランニング、通学の時もマスクの必要がないこと」などを呼びかけています。

第一小学校でも、児童会の人たちが熱中症予防の呼びかけをしています。

〇７月の目標・・・こまめに水分をとって熱中症を予防しよう

〇保健員会のポスター



新型コロナは主に、咳や会話で口から出る小さな水滴「飛沫」によって他の人にうつります。ですから、飛沫が届かない距離や会話がない時は感染しにくい病気です。

熱中症と新型コロナにかからないように注意して暑い夏を乗り切るために、みなさんも自分で「マスクを外せる時」を考えてみてください。

最後に一つ気をつけて欲しいことがあります。新型コロナへの不安は人によって違いがあります。不安な気持ちが大きくてマスクを外したくない人もいます。そのような人にマスクを外すことを無理強いしたり、その反対に、マスクを外している人を責めたりすることはやめましょう。

これで話を終わります。

この後は各学級で「マスクを外してよい時」はどんな場面が話し合ってみてください。

※朝会は資料を提示しながらオンラインで行っています。